

昭和37年8月1日(毎月1回1日発行)
発行所 新潟県公民館連絡協議会
(新潟市一番瀬通町・県教育庁社会教育課内)
[電話(新潟) 3111の658]
[振替(新潟) 4094]
発行人 安 沢 純 正
(定価 1部19円)
8月号 (114号)

新潟県 公民館月報

37年度

社会教育施策の重点
第一回県社教委で説明

さて八月十五日午後一時半から県庁分館会議室で本年度第一回県社会教育委員会が開かれた。
新しく委嘱された本会常任理事藤原隆氏など十六名の新委員の自己紹介などがあり委員互選による議長に小林力三氏、副議長に本岡辰爾氏を再選した。このあと各社会教育課長による事例説明、藤原第一指郷議長による本年度社会教育施策の重点について説明を受け、それぞれ質疑応答があった。特に本会議の時間と性格を明確にするため小林議長より運営の方法等について正すとかがあった。重点施策の大意は次のとおり。

社会教育施策重点
(アラビア数字は具体策)

- 一、行政指導の強化
社会教育を振興するため、市町村教育委員会が要請されてくるので、そのための指導・助言および援助をいっそう強化する。
1、市町村教育委員会との連絡強化
2、市町村社会教育行政財政の突進はあく
3、社会教育委員の設置促進と指導充実
4、社会教育主事の設置促進と指導充実
5、市町村社会教育計画樹立と相互連絡密着化
6、指導資料の作成頒布
二、総合社会教育の推進
県段階においては、青少年教育振興協議会を中心に関係機関・団体等との連絡を密にし、市町村段階においては研究指定地区の設置その他の施策をとおして社会教育活動の総合的推進を図る。
1、県青少年教育協議会
2、県青少年教育振興協議会
3、総合社会教育研究指定地区設置
4、社会教育講師団の編成と講師派遣
5、指導資料の作成頒布
三、青少年教育の振興
青少年の実態をほあくし、市町村とともに青少年教育活動の具体的な展開と実施を努める。あわせて青年学級の振興、青少年団体指導者の資質向上、未組織青少年の組織化を推進する。
1、青年学級の整備充実と運営費補助
2、青少年団体および指導者の育成
3、勤労青少年のつどいの実施
4、県青年大会開催、全国青年大会派遣
5、青年県外研修生の派遣
6、青少年巡回文庫の実施
7、指導資料の作成頒布
8、青年の家における研修
四、成人教育の振興
PTA活動を積極的に助長し、児童生徒および勤労青少年の健全育成を図るとともに、訪問集会の充実普及により、くらしの中から自発的に盛りあがる成人の学習活動を促進する。
1、PTA育成指導の充実強化
2、子ども会育成組織の確立
3、低年齢青年層父母会議の開催
4、高等学校開放講座の開設
5、訪問集会の設置促進と育成指導
6、指導資料の作成頒布
五、婦人教育の振興
婦人の教養を向上し、生活の民主化を図るため、婦人を対象とする学級・講座の開設増加、内容充実、および婦人団体の運営の合理化、学習活動の日常化を促進する。
1、研究指定婦人学級の委嘱
2、各種研究会、研修会の開催
3、国内研修生派遣
4、団体補助金交付
5、指導資料の作成頒布
6、報道機関の協力
六、社会教育施設の整備充実と活動の促進
(新潟県婦人学級の時間)
1、公民館整備計画の作成ならびに整備指導と援助
2、公民館運営の改善指導
3、博物館施設の育成
4、博物館の整備
5、公共図書館の整備指導
6、社会教育施設職員強化充実
7、公民館施設の整備
8、資料の作成頒布
七、文化・芸術の振興と機会の提供
指導者の研修と県民の文化向上を図るため、機会提供と普及につとめる。
1、文化講習会の開催
2、演劇指導者研修会の開催
3、県美術展の開催
4、視聴覚教材・マスコミの活用
5、へき地社会教育研究協議会
八、視聴覚教育の整備充実とその活用
視聴覚教育は近代的教育技術方法に大きな変革をもたらすもので、これに即応して、施設設備の充実と活用を促進する。
1、映写機・テレビ等視聴覚教材の新規設置および教材の更新購入の援助と指導
2、視聴覚教材の検定の徹底と整理・管理の指導
3、映画フィルム・録音教材等の整備充実
4、技術者養成の強化、指導者グループの育成指導
5、視聴覚組織の連携協力の強化
6、視聴覚教育指導者の資質向上
7、テレビ放送の教育利用の指導奨励
8、小県町における教材利用の指導奨励と利用法の研究奨励
9、教材目録・調査資料等の発行
九、文化財の事故防止対策の確立
公開面を強調するあまり、近年ひん出する文化財の事故を未然に防止するとともに恒久的対策を図る。
1、有形文化財の事故防止診断
2、無形文化財の保存・記録
3、記念物の現状調査に関する

目次
第十三回大会決議文 P. 2
公民館自己批判 P. 4
ベテランのプロフィル P. 5
新聞に表われた公民館評価 P. 8

8月の歴史

バルザック
一八五〇年八月十八日、この日死んだフランスの作家。近代リアリズム小説の父。
× ×
偉くなりたい、また金持になりたいと願うことは嘘をつき、頭を下げ、へつらい、いつわること、を、必ずから決心したことではないか。
いやだ、そんなことはやめた。俺は早く清く働こう。夜昼なく働いて俺の勤勉努力だけで成功をかせたい。それは一番の成功となるかもしれない。だが、自分の生活を反省し、田舎のまじりにそれが消滅するのを見るほど、美しいことがまたあるつか(ゴリオ爺さん)より

元気で勉強しています

社教主事講習生(教育大)からおたより

猛暑をうけて、ことしも社教主事講習が東京の二大学で開かれています。さきほど勉強中の本県勢に本場を汐贈送付したところ、教育大会紙より折り返し次のような寄せ書きが到着しました。チームワークのよさは、すでに本県勢の伝統となり、他県勢をうらやましがらせているとのこと。皆さんからも激励のおほきごでも差し上げて下さい。あて先は次のとおり

- ・文京区大塚郵便24、東京教育大学内 社会教育主事課程、新潟県出身者一同様
- ・東京小金井市青井北町四、東京学芸大学内、社会教育主事課程、新潟県出身者一同様

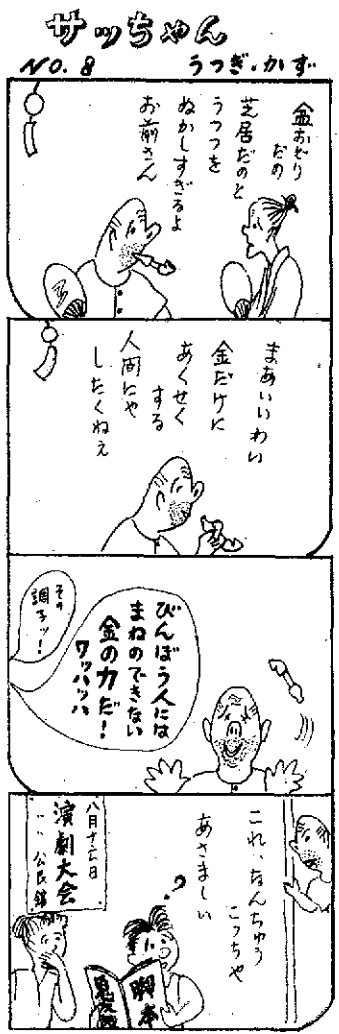
1. 「気をつけ、礼」
講義の初回、講師前任教授の勇ましい号令……
20年間聞きなれた号令ではあるが、私も少々戸惑ったことでした。思いやられるこれからの45日、老眼にむちうちながら頑張ります。「日月火水木金金」で。(松苗吉俊)
2. 空青く、空気がまずくない(今のところ) 最前列に陣取っているが、やがてうしろの方へ行くかも知れない。とにかく最善をつくしながら受講したい。(金子真)

3. 出陣のばんを押すにも行列、昼飯をたべるにも行列、このように秩序正しい集団にいると、眠気も手放って性格がのんびりしてくる?しかし学意だけは終るまで保ちたい。(上村恵一)
4. 上空向いて歩こう?現在の気持は、軽にノートを整理するのが精一杯だ。七色のネオンも一寸線強く、東京はちょっとでも動けば「ゼンコ」がいる。淋しく「金欠病」予防のために、もっばら下をむいて、当分はノート整理に頑張る。(丸山昇)
5. 朝ネボーの小生も、通勤1時間の練馬区から通っているので毎日それ故の緊張感が続いています。但し開講20分前には必ず出勤、規則生活も漸く身につきました。中古レンズ探しの余暇もありません。(巻・石山)
6. 最初の日(7月18日)から新潟県人はガッチリ固り何んとなく新潟県人の真面目さを再度感じさせられました。受講中は一生懸命勉強して参り度いと思いつ。(吉田・近藤)
7. 尤期券などを手にして、生活の面では漸く安定感を取戻しつつあります。おつむの方の空閑はほとんど癒着の状態になっておりますので、平常回転に復旧するのは容易からぬことだと思います。いずれにしても、みんなで助け合って頑張ります。もっともあまりチームワークにこだわると、「原始的集団」だと主任教授にひやかされそうですが。(岩室・小池)
8. 鐵、鎌作業からペンを執って大学の講義を受けているのは138人中、私1人ではあるまいか。肉体的労働から開放された気楽な気持ちで出掛けて来たものの、どうしてどうして容易からぬ精神的な疲れを痛感していますが、講義が進むにつれて希望と抱負を持ちつつ張切っています。(セイロ水戸部)

- 使われ「ヒヤリ」とした。号令は社会教育の中では「キンモツ」である筈。幸い2日目からは消えたので「ホツ」とした。講習もそろそろ軌道に乗った。今は千秋楽まで「白星」で飾ることだけ。招くネオンに口をつぶり頑張りとう「意」と「サイフ」をかためています。(新藤田遠藤)
11. 外に出れば車の波、乗物はラッシュ、内に入れば「講義、講義……」副主任の「気をつけ」の号令を心の奥に秘めて頑張ります。第4日目(長岡青柳)
 12. 昨日家からの便りに新潟は非常に暑いと東京で講義を受けるのも大変だろうと書いてきた。「今日あたりは涼しいのでさほどではない。東京は思ったより今年は暑くないようだ」と返事を出したが、明日からはどうなるか。「学習と治療」この夏は私にとっては身心ともに思い出の深い年になりそう。(加茂高橋哲也)

13. 人間時々「立場を変えて見る」ことは確かに必要である。昨日まで「教えていた身」が、今日は「教えられる身」になると、いろんな事に気づくものである。たとえば夫が3日間放牧場に立ったり、村長が3日間小使の仕事をやったら、えらい改革が始まるんじゃないだろうか。(逸名氏)
14. 僅か50分にも満たない朝夕の通勤電車ですが、いやはや本当にシンが疲れます。全く「前近代のジャングル土人集団」そのものです。ああ田舎のおんぼろバスがなつかしいねー(宮川)
16. 教大受講者は県人21名、種々元気で学習しています。開講の初日に平沢主任講師を招いて初顔合せをし、大いに気えんを上げました。この25日には芸大受講者15名を交えて合同懇親会を開きます。県内皆様御上京の切は私共には是非お顔を覚えて大いに励まして頂きたいと存じます。(丸山)

9. 30年の昔にかえて講義をきくのも始めは珍しいものです。果してこの気持は終講まで持続するかどうか疑わしいものです。でも皆さんに引きづられながら終了して帰りたいと念願しています。講義を受けていると周辺の人的な気楽さを覚えるのは珍らしい都会生活の勢かもしれない。(佐渡分室 佐竹)
10. 初日勇ましい号令一バツ「気をつけ(れい)」こんな号令によって始まった。こんな言葉が



東京教育大学正門前に勢ぞろいした本県勢、前列中央平沢主任教授(立つ人)

